

オリエンテーション

埼玉県医療的ケア児等支援センター（県センター）

医療的ケア児は増えている

- 医療的ケア児とは、医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。
- 全国の医療的ケア児（在宅）は、約2万人（推計）である。



その他の医療行為とは、
気管切開の管理、
鼻咽喉エアウェイの管理、酸素療法、
ネブライザーの管理、経管栄養、
中心静脈カテーテルの管理、
皮下注射、血糖測定、
継続的な透析、導尿 等

出典：厚生労働科学総合研究所社会政策研究総合研究事業「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携に関する研究（併称研究）」及び当該研究事業の協力のもと、社会医療財団法人財団統計（各年6月調査分）により厚生労働省障害児・発達障害者支援室で作成

埼玉県の医療的ケア児数の推移

埼玉県調査（令和4年1日現在）



【医療的ケア児の状態像】

- ・寝返り、座位保持も難しい重症の肢体不自由児が多い。
- ・半数は意思疎通も困難な重度の知的障害。

18歳以上の医療的ケア者^(注1)も増えている

(注1 医療的ケアのある重症心身障害者)

埼玉県内の成人期以降の医療的ケア者^(注1)



埼玉県調査（各年度4月1日現在）

3

「児」・「者」の支援は切り離せないもの

「児」の支援・「者」の支援で分かれがちだが、
「児」・「者」の支援は一体のもの

人生全体を想像して支援すること、向き合っていくこと



人生の歩みを支え、寄り添うこと

4

4

本日のプログラム

13:00～13:05

オリエンテーション

13:05～14:40

講演「医療的ケア児の人生の歩み」（質疑応答含む）

医療生協さいたま生活協同組合

熊谷生協病院名誉院長 小堀勝充先生

14:40～14:45

事務連絡、アンケート案内

5